

	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	支援計画に沿って療育の内容や役割分担を決めています。子どもの調子によっては支援内容を変更する場合もあります。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	毎日、担当する子供の確認と支援内容は相談しながら決めています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	毎日の支援記録で、シフト外の職員にも伝えるようにし、補足部分は口頭でも伝えるようにしています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	個別支援記録を残し、次回の支援内容に繋げるようにしています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12		
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	依頼のあった会議には当該児をよく知る職員が参加しています。	支援の時間と重なっている時や数が多くなった時の対応が課題。
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	該当する児童がいた場合には、児発管を中心に行なっています。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12		
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	相談支援員が事業所間で共有した情報を伝えています。	
	(28~30は、センターのみ回答)	—	—	
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	—	—	
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	—	—	
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	—	—	
	(31は、事業所のみ回答)	—	東成区には児童発達支援センターがないこともあり、他区のセンターを利用されている児童がいる場合は連携をとっている。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパー・バイズや助言等を受ける機会を設けているか。	—		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	わからない 3 区民ホールでのコンサートなどのイベントへの参加はしています。	地域の子ども達との交流の機会を持つのが今後の課題です。
	33 曜頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	連絡帳や申し送りで得た情報は職員間で共有し、課題については保護者の方と共に理解を持ち子供の成長につながるように努めています。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	わからない 1名 希望される方に個別相談を行っています。今年度は講師を招いての相談会も行いました。	
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	利用契約時に、説明をさせていただきます。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	半年に一度以上の面談(電話を含む)を行い、内容の確認を行っている。	子どもの意見・思いをどうするか。
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12		
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	悩みや相談等にはお時間を取っていただき生き生きしやすい工夫やアイデアを実例を交えて提案させていただいている。	必要な助言を職員間で話し合う時間多く取れるようにしています。